

令和7年度(2025年度)

函館市社会学級活動のまとめ



函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

発刊にあたって

函館市社会学級は、市民がよりよい家庭生活、社会生活を築き、教養と知識、技術等を学び合う成人教育の場として開設されてから79年目を迎えました。

今年度の社会学級は、市内の小中学校13学級において開設され、210名の学級生が全体講座で教養を高め、自らの資質の向上に取り組み、充実した学びを展開してきました。

このたび、令和7年度(2025年度)の各学級における学習活動等の成果を「社会学級活動のまとめ」として発刊することとなりました。

本書が今後の社会学級活動の充実と、学級生相互の理解を深められる資料として広く活用されることを期待いたします。

令和8年3月

函館市教育委員会
函館市社会学級生連絡協議会

目次

1	令和7年度函館市社会学級開設要項.....	1
2	社会学級開設校一覧.....	2
3	各学級の活動報告.....	3～15
	青柳小学校 … 3 千代田小学校… 4 本通小学校 … 5 本通中学校 … 6	
	八幡小学校 … 7 桔梗小学校 … 8 北美原小学校… 9 中央小学校 … 10	
	鍛神小学校 … 11 東山小学校 … 12 深堀小学校 … 13 日吉が丘小学校… 14	
	旭岡小学校 … 15	
4	ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）.....	16～17
5	見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）.....	18
6	函館市社会学級生連絡協議会.....	19～20
	(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員	
	(2) 活動報告	
	(3) 事業報告	
7	社会学級クラブ活動一覧.....	21
8	函館市社会学級生連絡協議会規約.....	22～23
9	社会学級のあゆみ.....	24～29

1 令和7年度 函館市社会学級開設要項

- 1 趣 旨 社会学級は、地域住民が自らの意思によって加入し、全体講座を通して主体的に学ぶことにより、教養と知識・技術等を学び合う成人教育の場として、教育委員会の求めに応じ、市立小・中学校長が開設し、社会学級開設校（以下「開設校」という。）と社会学級生連絡協議会が責任をもって運営を行う。
- 2 主 催 函館市教育委員会
- 3 開設期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
- 4 開設校 市立小・中学校 13校
- 5 社会学級生 函館市内に住所を有する成人等（以下「学級生」という。）
- 6 社会学級の目標
 - (1) 地域社会の一員として、地域づくり・学校支援等に協力する。
 - (2) 全体講座を主として、学級生が協力し合いながら自己教育・相互教育となるような学習に取り組む、クラブ活動への参加のみに限定することがないように努める。
 - (3) 全体講座の実施について、他の学級と合同で行うなど、開設校および社会学級主事が協力・工夫をし、社会学級の活性化につながる活動を展開する。
- 7 社会学級主事の設置と役割
 - (1) 開設校に社会学級主事を置く。
 - (2) 社会学級主事は、学校長の推薦により、教育委員会が委嘱する。
 - (3) 社会学級主事は、学級生とともに社会学級の運営を行い、必要に応じ学級生に対し、指導・助言を行う。
 - (4) 社会学級主事は、教育委員会との連絡事務を行うとともに、活動について把握し、適切な内容であることを確認のうえ、講座実施報告書を教育委員会へ提出する。
 - (5) 社会学級主事報償金は、年額10,000円とする。
- 8 学級運営上の留意点
 - (1) 社会学級の運営については、学級生と社会学級主事が協力しながら自主的に行う。
 - (2) 謝礼金を必要とする外部講師による講座を実施した場合は、1年度につき1学級ごとに1回5,000円を限度に教育委員会が負担する。
 - (3) 講座の講師謝礼金は教育委員会において講座実施報告書を精査し、支払対象となる場合は、講師の指定する金融機関口座へ謝礼金を振り込むものとする。
- 9 その他 家庭・社会生活の向上に寄与することを目的として、社会学級生連絡協議会を組織する。

2 社会学級開設校一覧

令和8年2月16日時点

ブロック	学級名	校長名	社会学級主事名	職名	学級長	学級生数(人)			
						男	女	計	
1 ブロック	1	青柳小学校	田上 悟	岡崎 弘司	教頭	野澤 信子	0	11	11
	2	千代田小学校	木村 理希	寺本 公彦	教頭	山本 幸子	0	10	10
	3	本通小学校	野口 達史	伊藤 圭	教頭	三好 勝久	13	21	34
	4	本通中学校	小田桐 智	葛西 広治	教諭	佐野 智英子 山田 ひろみ	0	6	6
	5	八幡小学校	小田 将之	海野 優	教頭	赤塚 留美子	3	7	10
	6	桔梗小学校	宮森 仁之	阿部 辰峰	教頭	金澤 りさ	0	36	36
	7	北美原小学校	佐藤 豊	迫田 浩章	教頭	松岡 日出男	3	4	7
2 ブロック	8	中央小学校	若林 慎也	竹内 昭夫	教頭	原田 由紀子	1	11	12
	9	鍛神小学校	吉田 拓史	庄司 浩	教頭	浅川 安公子	0	17	17
	10	東山小学校	永井 貴之	平石 仁恵	教頭	倉崎 由衣子	11	13	24
	11	深堀小学校	小濱 誠	宮本 暁弘	教頭	多田 成敏	9	8	17
	12	日吉が丘小学校	長縄 達幸	三井 陽平	教諭	杉浦 知恵子	0	15	15
	13	旭岡小学校	高井 真浩	福崎 梢	教頭	野口 卓史	5	6	11
計							45	165	210

3 各学級の活動報告

青柳小学校社会学級（学級生 11名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	田上 悟	青柳小学校校長
2	6	生誕 100 年 山下清展 百年目の大回想	鑑賞	高橋 伸佳	北海道立函館美術館 学芸員
3	7	博物館企画展「知られざるオホーツク海 先史文化紀行」	鑑賞	福田 裕二	市立函館博物館 学芸員
4	9	社会学級生フェスティバル講演会「豊かな人生 100 年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太朗	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	モルック教室	実習実技	野澤 信子	社会学級生
6	10	海の上の展望台 摩周丸見学	野外活動	佐藤 幸雄	ナビゲーター／元青函 連絡船摩周丸一等航海士
7	11	出前講座「災害に備えて」	講話	長野 秀一	函館市総務部災害対策 課 主査
8	12	百人一首「北海道の下の句カルタ教室」	実習実技	井上 祥子	社会学級生
9	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 「生誕 100 年 山下清展 百年目の大回想」

日時：6月12日（木） 10時00分～

場所：北海道立函館美術館 参加者：8名

概要： 山下清は、大正11年生まれ、昭和46年に49歳という若さで亡くなられて、令和4年に生誕100周年を迎えられていました。スケッチはせず、じっくりと観察して、無の世界観を五感で心に焼き付け、色紙や古切手などを5mm×1cmくらいに手でちぎり、貼り絵を完成させていて、作品に近づくまで、貼り絵だと気づかないくらい繊細で、感動しました。花火の華やかさ、建物の美しさ、空の漆喰、川の流れ、ペン画の富士山など、全てが写真のようで圧巻でした。館長さんから、2万人の達成が間近であると聞き、来訪日に2万人に達成されておりました。おめでとうございます。



○ 海の上の展望台 摩周丸見学

日時：10月23日（木）10時00分～

場所：函館市青函記念船記念館摩周丸 参加者：6名

概要： 摩周丸は、津軽丸形連絡船（高速自動化船）7隻のうちの1隻であり、青函トンネル開通により、青森～函館間をつなぐ80年（1908～1988）の就航に幕を下ろしました。笑いを交えた案内を船内細部まで、2時間ほどお聞きし、最後の就航日に乗船した若き日の思い出が走馬灯のようによみがえり、感無量の一日でした。



○ 出前講座「災害に備えて」

日時：10月23日（木）10時00分～

場所：青柳小学校視聴覚室 参加者：6名

講師： 今特に敏感になっている津波や災害に備えて準備をすることを学びました。避難場所をしっかりと把握しておくこと、特に散歩を兼ねて幾通りも歩いて確認しておくこと、万が一の大惨事には「わが身は自分で守る」ことを最優先に行動するなど、日頃より心がけることを再認識いたしました。歩いてみたり、「あの道は上り坂がキツイ」などと話し合ったりする機会が多くなりました。



<活動のまとめ>

今年も無事に活動を終了いたしました。ご理解ご協力ありがとうございました。令和8年度も年齢に合わせた講座を盛りだくさん計画・実施してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

千代田小学校社会学級（学級生 10名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	木村 理希	千代田小学校校長
2	7	第1ブロック交流活動 「ボッチャ体験」	実習実技	石田 剛司	函館ボッチャ協会 会長
3	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
4	9	社会学級生フェスティバル ソフトバレー交歓会	その他	—	
5	10	パークゴルフを楽しむ	実習実技	田口 順子	社会学級生
6	3	開講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 第1ブロック交流活動「ボッチャ体験会」

日 時：7月9日（水） 14時30分～15時00分

場 所：千代田小学校 体育館 参加者：10名

概 要： 講師にボッチャ協会の石田 剛司氏を迎え、ボッチャの説明を受け3人1チームで試合をしながら、ボッチャの体験をしました。他校の学級生と交流して楽しい時間でした。

○ 社会学級フェスティバル講演会「豊かな人生100年の仕組み構築」

日 時：9月1日（月） 10時00分～11時30分

場 所：函館市民会館 小ホール 参加者：3名

概 要： 講師の吉村 太郎氏より元気に日常生活を送るための運動について話を聞き、ストレッチ、四股などを体験しました。

○ 社会学級生フェスティバル「ソフトバレー交歓会」

日 時：9月29日（月） 9時00分～12時00分

場 所：函館アリーナ サブアリーナ 参加者：6名

概 要： 鍛神小学校と合同でチームを作り、試合を楽しみました。試合もたくさん出来て充実した時間を過ごしました。

○ パークゴルフを楽しむ

日 時：10月8日（水） 10時00分～12時00分

場 所：志海苔パークゴルフ場 参加者：6名

概 要： A・Bのコースを3人1チームでパークゴルフを楽しみました。天気が良く、いろいろと話をしながら、楽しくコースをまわりました。

<活動のまとめ>

今年もソフトバレーの活動をしながら講演会・講座に参加し、充実した時間を過ごしました。

学級生の減少や、高齢化などの問題はありますが、次年度も学級生の親睦が深まる講座などを考えていきたいと思っております。

本通小学校社会学級（学級生34名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	伊藤 圭	本通小学校教頭・社会学級主事
2	4	スポーツ教室	実習実技	金澤 由美子	社会学級生
3	5	山下清展 百年目の回想	鑑賞	—	
4	6	国際水産・海洋総合研究センター見学	見学	—	
5	7	第1ブロック交流活動 「ポッチャ体験」	実習実技	石田 剛司	函館ポッチャ協会 会長
6	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
7	9	社会学級生フェスティバル バドミントン交歓会	その他	—	
8	9	社会学級生フェスティバル ミニバレー交歓会	その他	—	
9	10	手作りパン教室	実習実技	日下部 優子	手作りパンの家こすも す オーナー
10	11	見学体験学習 「ささえあう共創と協奏」	講話・見学	—	
11	2	スポーツ交流	実習実技	—	
12	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「国際水産・海洋総合研究センター見学」

日時：6月20日（金） 11時00分～12時00分

場所：国際水産・海洋総合研究センター 参加者：10名

概要：センター長によるスライドを使った施設と研究内容の説明。キングサーモン完全養殖技術研究事業について、孵化から親魚になるまでの養殖事業、また真コンブやイカの養殖等海産物の研究に官学共同で取り組んでいることを知りました。



○ 講座「手作りパン教室」

日時：10月25日（土） 13時30分～16時00分

場所：手作りパンの家こすもす 参加者 14名

概要：パン生地を成形して、ソフトフランス・ソーセージパン・かぼちゃパン・クリームパンなど9種類を作りました。コロネの巻き方が流派によって違うことを知りました。

<活動のまとめ>

今年も皆さんの協力で色々な講座を開くことが出来ました。

次年度もより多くの方が参加できるような講座を企画したいと思います。

本通中学校社会学級（学級生 6名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	小田桐 智	本通中学校校長
2	5	季節のリース	実習実技	山田 ひろみ	社会学級生
3	7	ミニ門松作り	実習実技	山田 ひろみ	社会学級生
4	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	モルックのルールの学習と実技	実習実技	小田桐 智	本通中学校校長
6	11	秋のパン作り	実習実技	日下部 優子	手作りパンの家こすも す オーナー
7	2	童謡について（童謡アラカルト）	講話・実習 実技	佐野 智英子	社会学級生
7	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 第1ブロック交流活動「ポッチャ体験」

日 時：7月9日（水） 10時00分～13時00分
場 所：千代田小学校 体育館 参加者：5名
概 要：ほとんどの人がポッチャ未体験者で、指導員の指示に従い、他校との交流を楽しみ、ルールの習得に努めた。

○ ミニ門松づくり講座

日 時：7月4日（金）～7月11日（金）
場 所：本通中学校 PTAルーム 参加者：6名
内 容：10月の作品展に向けて、季節外れだったが、ミニ門松を作った。竹の部分を厚紙と布で作る等、手作り感満載の作品となった。

○ 社会学級講演会「豊かな人生100年の仕組み構築」

日 時：9月1日（月） 10時00分～11時30分
場 所：市民会館 小ホール 参加者：6名
内 容：脱力トレーニング、四股エクササイズ等の実技を交え、受講生を飽きさせない講座だった。日々の健康づくりに取り入れたいと思う。

○ モルックのルールの学習と実技

日 時：9月12日（金） 10時30分～11時30分
場 所 本通中学校 PTAルーム 参加者：6名
内 容 校長先生からモルックのルールを習い、2チームに分かれて競技体験をした。初心者にもわかりやすく楽しめる競技だった。



<活動のまとめ>

今年も例年通りに各手芸講座、パン教室等の講座も行った。ポッチャ、モルック、四股エクササイズ等スポーツづいた1年でもあった。私たちは、普段、手芸を中心とした活動をしているが、身体を動かすことも必要不可欠だと思う。その意味で、今年はとても有意義な1年だった。文化系の部でありながらも、これからも、文武両道を目指して、明るく健康的な学級づくりをしていきたい。

八幡小学校社会学級（学級生 10 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	海野 優	八幡小学校教頭・社会学級主事
2	6	山下清展 百年目の回想	鑑賞	—	
3	7	第1ブロック交流活動 「ポッチャ体験」	実習実技	石田 剛司	函館ポッチャ協会 会長
4	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生 100 年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	社会学級生フェスティバル バドミントン交歓会	その他	—	
6	11	見学体験学習 「ささえあう共創と協奏」	講話・見学	—	
7	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 美術鑑賞「山下清展 百年目の回想」

日 時：6月7日（土） 10時30分～11時30分

場 所：北海道立函館美術館 参加者：2名

概 要： 少年時代に出会ったちぎり絵を貼絵として進化させ、日本の原風景や名所を表現している。戦争の影響で色紙等が不足すると切手やチラシなども用いて制作したそうで、その繊細さに圧倒されました。

○ 第1ブロック交流活動「ポッチャ体験会」

日 時：7月9日（水） 14時30分～16時00分

場 所：千代田小学校 体育館 参加者：2名

概 要： ポッチャ協会の石田さんからルールと試合進行の説明を受けて実際にボールを手にしてプレイしてみる。他の学級生との3人で1チームを作り、合計10チームの対戦形式でプレイする。一見すると簡単そうだが、コントロールするのが難しく、また実践できる機会があればいいなと思いました。

○ 社会学級フェスティバル講演会「豊かな人生 100 年の仕組み構築」

日 時：9月1日（月） 10時00分～11時30分

場 所：函館市民会館 小ホール 参加者：5名

概 要： ストレッチや四股のエクササイズ体操など元気に年齢を重ねられる秘訣について楽しい話術での講演でした。

<活動のまとめ>

今年も美術鑑賞やスポーツ交流など会員同士の親睦が深まるような講座を企画・実施しました。同じ趣味を持つ仲間同士、これからも大切にして活動を続けていきたいと思ひます。

桔梗小学校社会学級（学級生 36名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	4	開講式	その他	阿部 辰峰	桔梗小学校教頭・社会学級主事
2	6	山下清展 百年目の回想	鑑賞	高橋 伸佳	北海道立函館美術館学芸員
3	7	第1ブロック交流活動「ポッチャ体験」	実習実技	石田 剛司	函館ポッチャ協会 会長
4	7	函館税関見学	講話・見学	岩谷 誠一	函館税関総務部税関 広報広聴官
5	9	社会学級生フェスティバル講演会「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
6	9	社会学級生フェスティバル ミニバレー交歓会	その他	—	
7	10	社会学級生フェスティバル 音楽発表会・作品展	その他	—	
8	10	手芸「お正月 しめ飾り」づくり	実習実技	小林 裕美子	社会学級生
9	11	ゆるトレーニング	実習実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
10	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 山下清展 百年目の回想

参加者15名

“放浪の画家”としてドラマにもなり有名で人気の高い山下清の作品が多数見られた。類い稀な記憶力と正確なスケッチ、精緻なちぎり絵やペン画は並々ならぬ集中力と忍耐力を必要とする事が想像でき、作品の迫りに圧倒された。

○ 函館税関見学

参加者20名

海岸町にある函館税関を見学。動画を見ながら税関の仕事や役割、実際にあった事例、押収物（レプリカ含）等に関する講義を受けた。ドラマのような事件が現実にごく身近であることを知り、他人ごとにはいけない…と考えさせられた。

○ 手芸「お正月 しめ飾り」づくり

参加者17名

市販の材料を使ってしめ飾りを作る学級生講師による手芸講座。同じ材料からでも個々のセンスと好みによって様々なデザインの作品ができ、楽しみながら作ることができた。材料の準備から指導までしてくれる学級生講師に感謝！！

○ ゆるトレーニング

参加者15名

昨年度に続き、フェスティバル講演でもお世話になった“たろう先生”による簡単健康体操の講座。自分の身体に触れることで意識を高め、ポジティブな言葉を発することでちょっと大変な運動がラクに感じられることを実感。そして一番大切なのが継続すること。（これが一番難しい！？）いつまでも元気で、好きなことを楽しめる身体でいたいものですね。



<活動のまとめ>

本年の活動は実技系が多く企画されました。コロナ禍を抜け、人と会い、集い、笑いあっておしゃべりができる、のびのびとした活動を求めていたのかもしれませんが。物価高による材料費や講師料の値上がり、続く感染対策など悩みながら企画・運営してきた1年でした。今後も知恵をしぼり、学校とも協力しながら、魅力的な講座が行えればと思います。

北美原小学校社会学級（学級生 7名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	迫田 浩章	北美原小学校教頭・社会学級主事
2	7	第1ブロック交流活動 「ボッチャ体験」	実習実技	石田 剛司	函館ボッチャ協会 会長
3	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
4	9	社会学級生フェスティバル 卓球交歓会	その他	—	
5	11	見学体験学習 「ささえあう共創と協奏」	講話・見学	—	
6	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 第1ブロック交流会「ボッチャ体験」

日時：7月9日（水） 14時30分～16時00分

場所：千代田小学校 体育館 参加者：1名

概要：本学級より1名参加にも関わらず、千代田小学校の担当者と講師のボッチャ協会員との計らいで3名1チーム編制する中で、適度な運動と他の学級生との交流ができ充実した時間でした。

○ 社会学級生フェスティバル講演会「豊かな人生100年の仕組み構築」

日時：9月1日（月） 10時15分～11時30分

場所：函館市民会館 小ホール 参加者 3名

概要：パーソナルトレーナーで介護福祉士でもある講師の吉村太郎氏は、講師の経験が豊富であり、簡易な体操から入ることによって、学級生同士の交流を円滑にし、楽しい会となりました。また、講演内容も、高齢者にとって今後の生き甲斐につながる意義ある講座となりました。

○ 社会学級生フェスティバル 卓球交歓会

日時：9月29日（月） 9時00分～11時30分

場所：函館アリーナ（サブアリーナ） 参加者：4名

概要：旭岡小、中央小と北美原小の3校での交歓会は、2年目となりました。

今回も、卓球を通して親睦を深めました。今後は時間を考慮に入れて、より楽しい交歓会にしていきたいと思っております。

<活動のまとめ>

見学体験学習、ブロック交流、スポーツ交流などを通して、親睦を深める中学びが豊富にありました。今後も、より魅力ある講座を開設し、社会学級の充実を図りたいと考えています。

中央小学校社会学級（学級生 12名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	竹内 昭夫	中央小学校教頭・社会学級主事
2	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部担当部長
3	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
4	9	社会学級生フェスティバル 卓球交歓会	その他	—	
5	10	社会学級生フェスティバル 音楽発表会	その他	—	
6	12	パン教室	実習実技	日下部 優子	手作りパンの家こすも す オーナー
7	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 講座「パン教室」

日時：12月1日（月） 10時30分～12時30分

場所：手作りパンの家 こすもす 参加者 7名

概要：以前にも開催したパン教室を久しぶりに行いました。

松田はるみさんを講師に迎え、生地の丸め方、伸ばし方を教えてもらいながら、8種類のパンを作りました。焼き上がるまでの時間は、サラダを作り、パンの作り方のおさらいをして、楽しく待ちました。そして焼き上がったパンは我ながらすばらしい出来栄でした。最後は、自分たちで作ったパンを分けながら嬉しそうに持ち帰りました。



○ スポーツ交流

日時：毎週水曜日 15時00分～（卓球）
15時30分～（バドミントン）

場所：中央小学校 プレールーム（卓球）
体育館（バドミントン）

参加者：10名

概要：卓球では、参加人数が増え、ゲームを通してメンバーの技術の向上が見られ、和気あいの雰囲気の中、毎回のスポーツ交流を楽しんでいます。

バドミントンでは、上級者に教えてもらったり、子どもを連れて参加したりする様子が見られました。楽しく活動しながら、上達への目標をもって、真剣にスポーツに打ち込む姿も見られました。

今後も、地域の方々が「いつでも、どなたでも」参加できるスポーツ交流を展開していこうと考えています。



<活動のまとめ>

今年度は卓球の交歓会があり、卓球の人数が増えて活動が盛んになりました。皆さんがとても楽しく参加していますのでこの活動を今後も続けられたらと思います。今後も、本学級での活動の様子を発信し、多くの学級生を迎えることができるよう取り組みます。

鍛神小学校社会学級（学級生 17名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	吉田 拓史	鍛神小学校校長
2	6	千羽鶴づくり	奉仕活動	風間 美智子	社会学級生
3	6	山下清展 百年目の回想	鑑賞	—	
4	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部担当部長
5	7	函館地区保護司会「市民のつどい」	鑑賞	—	
6	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太朗	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
7	9	「つくる冒険」日本のアール・ブリュット45人の鑑賞	鑑賞	風間 美智子	社会学級生
8	9	社会学級生フェスティバル ミニバレー交歓会	その他	—	
9	10	作品展展示と小物づくり体験講座	実習実技	風間 美智子	社会学級生
10	11	パン作り教室「手作りパンの作り方を学ぶ」	実習実技	日下部 優子	手作りパンの家こすもす オーナー
11	2	閉講式	その他	庄司 浩	鍛神小学校教頭・ 社会学級主事

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 「山下清展 百年目の回想」

日時：6月3日（火） 10時30分～11時30分
 場所：北海道立函館美術館 参加者：7名
 概要：放浪の天才画家山下清の生誕100年記念の作品や、放浪の旅に携帯されたリュックや浴衣など関連資料を鑑賞した。鉛筆やペンだけの繊細なタッチや、貼絵の細かい作業の作品にふれることができ貴重な体験ができた。



○ 第2ブロック交流「布目水産工場見学」

日時：6月30日（月） 10時30分～11時30分
 場所：布目水産本社 参加者：9名
 概要：創業84年の布目水産を見学した。消毒作業など安心安全な商品づくりなど徹底した企業努力を知り、布目水産の商品に目が行くようになった。



○ 社会学級生フェスティバル作品展「作品展展示と小物づくり体験講座」

日時：10月22日（水） 11時00分～15時00分
 場所：亀田交流プラザ 大会議室1A 参加者：6名
 概要：他の学級の作品を鑑賞しこれからの作品作りのアイデアの参考になった。



○ パン作り教室「手作りパンの作り方を学ぶ」

日時：11月5日（水） 10時00分～12時00分
 場所：手作りパンの家こすもす 参加者：11名
 概要：松田講師の指導の下、菓子パンを作製した。久々のパン作りで、それぞれ個性あふれるパンが出来上がり、次回はレベルアップしたパン作りがしたいと意気込んでいて楽しくパン作りを学ぶことができた。

<活動のまとめ>

今年度も千羽鶴折り、見学体験学習、ブロック交流、社会学級講演会、スポーツ交歓会、パン作り講座と活発に楽しく活動できた1年でした

東山小学校社会学級（学級生24名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	平石 仁恵	東山小学校教頭・社会学級主事
2	6	ヨガ体験講座	実習実技	山廣 恵美	ヨガインストラクター
3	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部担当部長
4	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	社会学級生フェスティバル バドミントン交歓会	その他	—	
6	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ ヨガ体験講座

日 時：6月28日（土） 13時00分～14時00分

場 所：東山小学校 体育館 参加者：9名

概 要： 令和7年の活動は実技講座の「ヨガ」を受講しました。年齢とともに弱ってきた筋力や柔軟性、流行りの筋膜やリンパの流れなど、実技指導を受けながら勉強しました。バドミントンで身体は使っている方ではありますが、いつもとは違う筋肉を使うなど、ここちよい筋肉痛を感じ、取り入れたい体操を学びました。

○ 社会学級生フェスティバル バドミントン交歓会

日 時：9月27日（土） 13時00分～16時30分

場 所：サン・リフレ函館 参加者：14名

概 要： 今年当番校として、深堀小と本通小、八幡小の学級生と対抗戦をしました。短い時間の中で、より楽しく試合をこなすため、頭をひねり工夫をしました。難しいことはなるべく省き、わかりやすく事前準備はしっかりと、納得のいく当番校の仕事ができたと思います。部員はもちろんですが、他校の皆様にもご協力いただけ成功したと思います。

○ クラブ活動紹介「東山小学校社会学級バドミントン部」

部 員 数：15名（男5名・女10名） 練習場所：東山小学校 体育館

活 動 日：毎週水曜日15時～17時・土曜日13時～16時

活動内容： 年齢は、50代6名、60代4名、70代5名、最年長は77歳です。平均年齢は高めではありますが、元気いっぱいにぎやかに楽しく活動をしています。

<活動のまとめ>

今年一番苦労したのは、バドミントンの羽の値上げ。部費の値上げもやむを得ずでした。他は大きなケガや問題もおきることなく、にぎやかに楽しむことができました。

今年は部員も増え、交歓会への参加者も増えるなど、新しい若い風が吹き、嬉しかったです。

深堀小学校社会学級（学級生 17 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	6	開講式	その他	宮本 暁弘	深堀小学校教頭・社会学級主事
2	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部担当部長
3	7	大森浜環境美化活動	奉仕活動	—	
4	8	護衛艦「きりしま」見学	見学	—	
5	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
6	6	閉講式	その他	宮本 暁弘	深堀小学校教頭・社会学級主事

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 奉仕活動「大森浜環境美化活動」

日 時：7月7日（月） 7時00分～ 8時00分

場 所：大森浜海岸 N○3エリア 参加者：8名

概 要： 早朝の肌寒い天候でしたが、多くの市民や団体ボランティアの方々と共に、今年も海岸清掃活動に参加しました。大森浜に流れ着くゴミや海岸に散乱するゴミが無くなることはありません。今後も活動に参加して環境美化に貢献していきたいと思えます。



○ 護衛艦「きりしま」見学

日 時：8月3日（日） 13時00分～14時30分

場 所：函館港町埠頭 参加者：5名

概 要： 函館に来航し一般公開された「きりしま」を見学しました。全長161mの大きさに驚きながら、各種装備品や艦に与えられた任務について説明を受けることができました。

乗員である海上自衛官からは、日本の安全を守る強い熱意を感じられ、わが国を取り巻く複雑な安全保障環境について考えるよい機会となりました。

<活動のまとめ>

7月に行った大森浜環境美化活動参加手続きの時に、市の担当者の方から「深堀小学校社会学級は今回も参加いただきありがとうございます」と嬉しい言葉をかけていただきました。（毎年同じ海岸清掃だし、そろそろ他の講座を考えるかな…）との思いは無くなりました。

私が学級長の間は、早朝の海岸清掃は続きますので、深堀小学校社会学級の皆様、お付き合いお願いします。

日吉が丘小学校社会学級（学級生 15 名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	長縄 達幸	日吉が丘小学校校長
2	5	山下清展 百年目の回想	鑑賞	—	
3	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部 担当部長
4	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生 100 年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太朗	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	交流音楽発表会の歌唱曲の強化練習	実習実技	堀川 智美	音楽教室主宰・声楽家
6	10	社会学級生フェスティバル 音楽発表会	その他	—	
7	11	見学体験学習 「ささえあう共創と協奏」	講話・見学	—	
8	3	閉講式	その他		

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

○ 美術鑑賞「山下清展 百年目の回想」

日 時：5月16日（金） 14時00分～15時00分

会 場：北海道立函館美術館 参加者：11名

概 要： 学芸員による解説の後、展示を鑑賞しました。緻密な超絶技巧ともいえる貼絵、丁寧に細かい描写に感動しました。山下清本人の言葉とともに彼の作品の世界に魅了されました。

○ 第2ブロック交流活動「布目水産工場見学」

日 時：6月30日（月） 10時30分～11時30分

場 所：布目水産本社 参加者：4名

概 要： 会社の概要解説の後、工場の見学と買物。DVDで製造工程がよくわかりました。イカが捕れなくなってきて大変とのことでしたが、このような産業は市民の誇りでもあるので、がんばってほしいです。

○ 交流音楽発表会の歌唱曲の強化練習

日 時：9月19日（金） 15時10分～16時10分

場 所：日吉が丘小学校 音楽室 参加者：13名

講 師：堀川 智美（音楽教室主宰・声楽家）

概 要： 軽く体をほぐした後、発声練習と発表会で歌う曲の練習。歌の心を伝えるための歌詞の発音のコツ、姿勢、表情などのアドバイスをいただきました。「楽しんで歌うと、聞いているお客様も楽しくなる」ということは、大事なことだと思いました。

<活動のまとめ>

学級生全員が合唱部員なので、合唱の練習がメインの活動ですが、工場見学やフェスティバルを通じて、他校学級生との交流も楽しみました。次年度も協力し合いながら、楽しく魅力ある活動をしていきたいと思ひます。

旭岡小学校社会学級（学級生 11名）

回	月	学習テーマ	学習方法	講師名	役職名
1	5	開講式	その他	高井 真浩	旭岡小学校校長
2	5	山下清展の見学	鑑賞	—	
3	6	第2ブロック交流活動 「布目水産工場見学」	見学	石黒 学	株式会社布目 管理部担当部長
4	9	社会学級生フェスティバル講演会 「豊かな人生100年の仕組み構築」	講話・実習 実技	吉村 太郎	アクティブライフチャレンジ 代表トレーナー・介護福祉士
5	9	社会学級生フェスティバル 卓球交歓会	その他	—	
6	9	現代の幸福論	講話	古市 憲寿	社会学者
7	3	閉講式			

【令和7年度の活動を振り返って】

<事業の紹介>

旭岡小学校社会学級は、10名ほどのメンバーでの活動です。

以前は、ソフトバレー、バドミントン、卓球でのスポーツ系に加え、囲碁・将棋、音楽の文化系で数十名に近い結構大所帯の時期もありましたが、コロナ禍の活動停止が影響し、現在のクラブ活動は卓球のみとなっております。

○ 令和7年度に実施した社会学級講座について

本年度は、卓球の定期活動のほか、社会学級生フェスティバル講演会「豊かな人生100年の仕組み構築」やタックスフェア2025 特別講演会「現代の幸福論」といった講演会や、「山下清展」の鑑賞、(株)布目さんの工場見学、社会学級生フェスティバルの卓球交歓会などの講座を通じて、学級生としての地域づくり、自己教育に努めております。

○ クラブ活動紹介「旭岡小学校社会学級卓球部」

部員数：11名（男5名・女6名） 練習場所：旭岡小学校 体育館

活動日：毎週土曜日 13時30分～16時00分

活動内容：卓球は、年を取ってからでも出来るスポーツであり、老化防止も良いと言われておりますし、毎週土曜午後の活動は和気あいあいと楽しい時間を過ごしております。

冬季間は、暖房の関係で体育館が使えないこともあり、この期間の活動が課題となっておりますが、今年度は、試しに実施していることもあるので、定期活動化を検討しているところです。

また、卓球活動の最終日には、体育館の掃除をさせていただきました。

<活動のまとめ>

卓球も参加人数の減少と高齢化など現代日本と同じ問題を抱えており、メンバーからの声かけ、町会での回覧折込み等の活動をしておりますが、なかなかメンバーを増やせずにはいましたが、今年度はなんとか新たに1名の参加を得ることが出来ましたので、引き続き学級生の勧誘活動をしていきたいと思っております。

4 ブロック交流活動（函館市社会学級生連絡協議会事業）

第1ブロック交流活動

○担当校：千代田小学校社会学級

○ブロック交流活動推進委員：山本 幸子

1 活動テーマ

「 ボッチャ競技体験教室 」

2 活動のねらい

- (1) 第1ブロック学級生の交流親睦と障害者スポーツへの学び
- (2) ボッチャを実際に体験し競技ルールを学びながら楽しむ。

3 活動計画

5月22日 ボッチャ協会へ問い合わせる。

6月13日 各学級へ案内文書を送付する。

7月 2日 参加人数確認、最終打ち合わせをし、7月9日開催の準備をする。

4 活動学級名と参加者数

青柳小	0名	千代田小	10名	本通小	7名
本通中	6名	八幡小	2名	桔梗小	4名
北美原小	1名			計	30名

5 活動内容

- ・ 日 時：令和7年7月9日（水） 14時30分～16時00分
- ・ 場 所：千代田小学校体育館
- ・ 内 容： ボッチャ協会石田会長よりボッチャ競技の説明を受け3人1チームのトーナメント形式で試合をした。

6 参加者の感想

- ・ ボッチャ競技はルールも難しくなく直ぐに楽しめた。
- ・ 従来の鑑賞教室よりも、他学級生との交流ができて良かった。



7 まとめ

- ・ ボッチャ競技は、初めての体験であったが、ルールが覚えやすく直ぐに楽しめた。
- ・ 競技しているチームも見ているチームもともに楽しむことができた。

第2ブロック交流活動

○担当校：中央小学校社会学級

○ブロック交流活動推進委員：原田 由紀子

1 活動テーマ

「 布目水産工場見学 」

2 活動のねらい

- (1) 近年の気候変動によるイカ不漁続きでの製品の生産工夫方法を学ぶ。
- (2) ビデオや講話で、工場での作業方法を学び、工場見学をする。

3 活動計画

5月 株式会社 布目水産に問い合わせる。

6月 見学日程を決め、各学級に案内文書を出し、参加者数を布目水産に報告する。

4 活動学級名と参加者数

中央小	7名	鍛神小	9名	東山小	6名
深堀小	5名	日吉が丘小	4名	旭岡小	6名
				計	37名

5 活動内容

- ・日時： 令和7年6月30日（月）午前10時00分～
- ・場所： 株式会社 布目
- ・内容： 管理部担当部長による講話やビデオ鑑賞により、工場内の様子、不漁によるイカ製品への工夫などを学んだ。

6 参加者の感想

- ・オートメーションによる機械化製品もあるが、イカ塩辛など昔ながらの手作業の工程もあることなどを学んだ。
- ・本社工場の廊下には素晴らしい絵画などが飾られていて、ギャラリーのようであった。



7 まとめ

- ・雨天にも関わらず、たくさんの学級生の参加があり、交流もでき楽しく学べた。
- ・当日は社会学級への取材があったが、市教委職員が対応してくれスムーズに進んだ。

5 見学体験学習（函館市社会学級生連絡協議会事業）

実行委員企画 見学体験学習 2025

○実行委員：会長 風間 美智子

1 活動テーマ

- ・函館視力障害センターの見学 ・「ささえあう共創と協奏」への参加
- ・特別講座「共生社会の創造」～ユーモアあふれる教育の心～ 大泉 恒彦 氏

2 活動のねらい

- (1) 視力障害や様々な困りごとを抱えている方への支援体制を知る。
- (2) 共生社会実現への「つながりの輪」を共に考える機会に触れる。

3 活動計画

- 11月6日 函館市医療・介護連携支援センターへ内容や参加可否について問い合わせ
11月10日 第3回連絡協議会にて提案し、11月20日を締切とし、申込みを受付
11月17日 参加数20名で申込み、11月29日開催に参加する。（当日参加は18名）

4 活動学級名と参加者数

千代田小	2名	本通小	6名	八幡小	1名
日吉が丘小	4名	鍛神小	4名	計	18名

5 活動内容

- ・日 時：令和7年11月29日（土）13時00分～15時00分
- ・場 所：函館視力障害センター
- ・内 容： 特別講話「ユーモアあふれる教育の心」の聴講
と防災ワークショップ「ローリング・ストック法
（災害時の食事献立）」の学習体験

6 参加者の感想

- ・ 特別講話では、大泉 恒彦 氏が、88歳という高齢にもかかわらず、北海道高等盲学校時代の教員生活や子どもの褒め方、家庭での在り方についてユーモアたっぷりに語られ会場が笑いに包まれ、人生を楽しく生きる秘訣をいただいたようでした。

7 まとめ

- ・ 函館市視力障害センターや地域包括支援センターの役割、マッサージ体験・盲導犬とのふれあい・自立支援施設の作品など、なかなか触れることが無いことを学んだ。
- ・ 各学級クラブ活動日と重なり、参加人数は少なかったのは残念であったが、「共生社会の実現」を再認識する良い機会となった。



6 函館市社会学級生連絡協議会

(1) 社会学級生連絡協議会役員およびブロック交流活動推進委員

	1ブロック	2ブロック
企画運営委員	<ul style="list-style-type: none"> ・金 濱 ゆかり【本通小】 (副委員長) ・坂 井 恵【本通中】 (会 計) 	<ul style="list-style-type: none"> ・風 間 美智子【鍛神小】 (委員長) ・安 藤 邦 雄【旭岡小】 (副委員長) ・石 崎 美奈子【日吉が丘小】 (会 計)
会計監査	<ul style="list-style-type: none"> ・赤 塚 留美子【八幡小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・倉 崎 由衣子【東山小】
ブロック交流活動推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・山 本 幸 子【千代田小】 	<ul style="list-style-type: none"> ・原 田 由紀子【中央小】

(2) 活動報告

連絡協議会の開催		
第1回	5月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度決算等の報告 ・今年度の運営方針・事業内容等の決定
第2回	7月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック交流活動について ・社会学級生フェスティバル等について協議
第3回	11月10日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・見学体験学習について ・今年度事業実施状況の報告 ・「社会学級活動のまとめ」原稿作成について依頼 ・次年度の役員体制について協議
第4回	2月16日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・2月以降の講座実施報告書の提出について ・「社会学級活動のまとめ」作成について ・次年度の企画運営委員・ブロック交流活動推進委員について
監査会	3月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会学級生連絡協議会の会計監査
企画運営委員会の開催		
第1回	5月12日(月)	今年度の役員の決定
第2回	6月18日(水)	第2回連絡協議会について協議
第3回	11月4日(火)	第3回連絡協議会について協議
第4回	2月4日(水)	第4回連絡協議会について協議
第5回	3月23日(月)	次年度の活動計画等について協議

社会学級生フェスティバル実行委員会の開催			
第1回	7月14日(月)	全体会議・各部会協議	
第2回 (反省会)	11月10日(月)	各部会の開催・参加状況について	
ブロック交流会の開催			
ブロック	担当校	実施日	内容
1	千代田小	7月9日(水)	テーマ:「ボッチャ競技体験教室」 会場:千代田小学校体育館
2	中央小	6月30日(月)	テーマ:「布目水産工場見学」 会場:株式会社布目
見学体験学習の開催			
実施日		内容	
11月29日(土)		テーマ:「ささえあう共創と協奏」 会場:函館視力障害センター	

(3) 事業報告

社会学級生フェスティバル

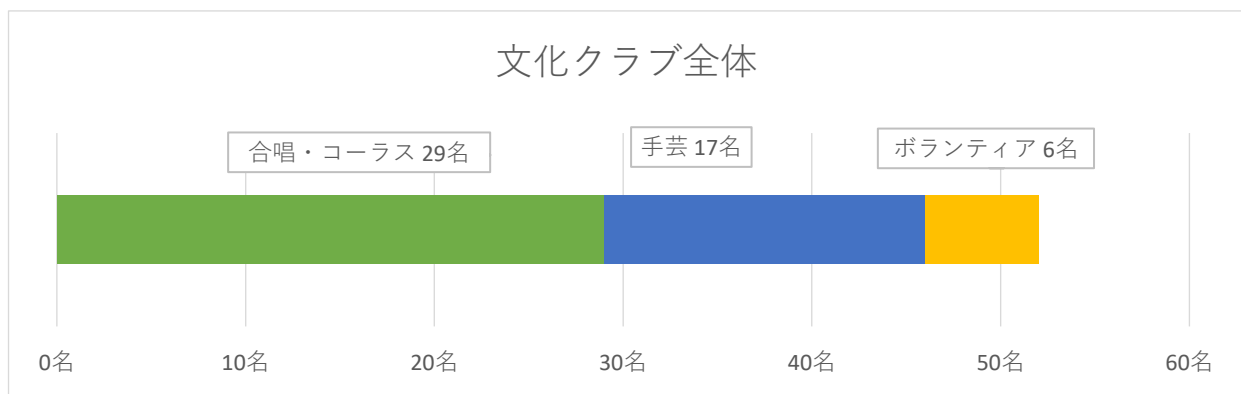
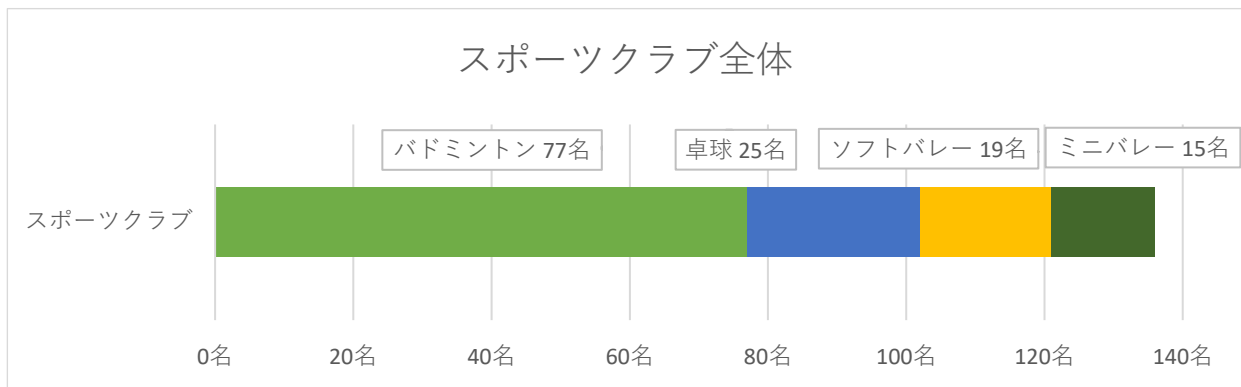
開催趣旨	社会学級生の日頃の活動や成果等を発表し, 交流を深めるとともに, 広く市民に社会学級の取り組みを紹介し, 参加を促すことを目的として開催する。		
開催内容・日時・会場・参加人数等			
開会式・講演会	9月1日(月) 10:00~11:15	市民会館 小ホール	社会学級生 99名 一般参加者 31名
バドミントン交歓会	9月27日(土) 13:00~16:30	サン・リフレ函館 アリーナ	4学級(本通小, 八幡小, 東山小, 深堀小) 46名
ミニバレー交歓会	9月29日(月) 10:00~12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(本通小, 桔梗小) 14名
ソフトバレー交歓会	9月29日(月) 10:00~12:00	函館アリーナ サブアリーナ	2学級(千代田小, 鍛神小) 12名
卓球交歓会	9月29日(月) 10:00~12:00	函館アリーナ サブアリーナ	3学級(北美原小・中央小・旭岡小) 19名
音楽発表会	10月22日(水) 14:00~15:00	亀田交流プラザ 講堂1, 2	2学級(桔梗小, 日吉が丘小) 31名(来場者60名)
作品展	10月22日(水) 11:00~15:00	亀田交流プラザ 大会議室1A	3学級(本通中, 鍛神小, 桔梗小) 17名+有志(来場者101名)

7 社会学級クラブ活動一覧

令和7年10月1日時点

	クラブ名	学級名	人数	学級名	人数	学級名	人数
スポーツ	バドミントン 5学級 77名	本通小	29名	八幡小	10名	中央小	4名
		東山小	17名	深堀小	17名		
	卓球 3学級 25名	北美原小	7名	中央小	7名	旭岡小	11名
	ソフトバレー 2学級 19名	千代田小	10名	鍛神小	9名		
	ミニバレー 2学級 15名	本通小	5名	桔梗小	10名		
スポーツクラブ合計			136名	学級生全体に占める割合			68.0%
文化	合唱・コーラス 2学級 29名	桔梗小	14名	日吉が丘小	15名		
	手芸 2学級 17名	青柳小	11名	本通中	6名		
	ボランティア 1学級 6名	鍛神小	6名				
	文化クラブ合計		52名	学級生全体に占める割合			26.0%

※10/1時点での学級生数：200名



8 函館市社会学級生連絡協議会規約

(名 称)

第1条 この会は、函館市社会学級生連絡協議会と称する。

(事務所)

第2条 この会の事務所を函館市教育委員会事務局内におく。

(目 的)

第3条 この会は社会学級の発展を図るため、情報交換等により社会学級の運営について研究し、あわせて家庭・社会生活の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 前条の目的達成のため、次の活動を行う。

- (1) 運営・活動状況の交換および研究資料の収集
- (2) 社会学級合同の講座交歓会、その他行事の開催
- (3) その他本会の目的達成に必要な事項

(会 員)

第5条 この会は、社会学級の代表2名以内の委員をもって組織する。

(役 員)

第6条 この会に次の役員をおく。

- | | |
|--------|-----------------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 企画運営委員 | ブロックから1名（うち書記2名、会計2名） |
| 会計監査 | 2名 |

(役員を選出)

第7条 役員を選出は次のとおりとする。

- (1) 会長および副会長は原則として、前年度企画運営委員の中から、年度当初の例会において選出する。
- (2) 会長および副会長は、企画運営委員会の委員長および副委員長を兼務する。
- (3) 企画運営委員は、ブロックごとに1名を互選する。
- (4) 書記・会計は、企画運営委員の中から選出する。

(役員任期および任務)

第8条 役員任期は1年とし、再任をさまたげない。任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 企画運営委員は、企画運営委員会を構成し、会務の執行を決定する。
- (4) 書記は、この会の書記を担当する。
- (5) 会計は、この会の会計を担当する。
- (6) 会計監査は、この会の会計を監査する。

(会 計)

第9条 この会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。
この会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。

(会 議)

第10条 この会は次の会議を設ける。

- (1) 例会
- (2) 企画運営委員会

第11条 例会は、会員をもって構成し、次の事項を議決する。

- (1) 規約の改廃
- (2) 役員の変更
- (3) 事業の計画の決定
- (4) 事業報告の承認
- (5) 収支予算の決定
- (6) 収支決算の承認
- (7) その他重要事項

2 例会は、年4回とし会長が招集する。ただし、会長が必要と認めた時は、臨時会を開催することができる。

第12条 企画運営委員会は、次の事項を決定する。

- (1) 例会の議決した事項の執行に関する事。
- (2) 例会に付議すべき事項に関する事。
- (3) その他例会の議決を要しない会務の執行に関する事。

2 企画運営委員会は、会長が必要と認めたとき、または企画運営委員の3分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったとき開催することができる。

第13条 この規約は、年度当初の例会において変更することができる。

(相談者)

第14条 この会に相談者をおく。

教育委員会の職員と社会学級主事は、社会学級等の企画運営にあたって相談に応じる。

付 則

この規約は、昭和36年7月26日から施行する。

この規約は、昭和38年6月11日から施行する。

この規約は、昭和57年4月1日から施行する。

この規約は、昭和59年4月26日から施行する。

この規約は、平成元年4月27日から施行する。

この規約は、平成8年5月17日から施行する。

この規約は、平成12年5月10日から施行する。

この規約は、平成15年5月28日から施行する。

この規約は、平成18年5月16日から施行する。

この規約は、平成24年5月16日から施行する。

この規約は、平成25年5月15日から施行する。

※ 申し合わせ事項

- (1) 企画運営委員の選出にあたってはブロック内で特定の学級に偏らないよう配慮する。
- (2) 会長および副会長1名は、前年度の最終の企画運営委員会で内定し、次年度の第1回連絡協議会において報告し、承認を受ける。
- (3) 各種交歓会は希望学級の参加により開催するものとし、参加人数が足りず単独学級で参加出来ない場合は足りない学級と合同で参加することができる。

9 社会学級のあゆみ

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1945 (昭和20)	<社会学級の創出>	第二次世界大戦終戦
1946 (昭和21)		婦人教養施設「母親学級」の委嘱
1947 (昭和22)	若松小学校が社会学級を開設する (北海道庁の指定校となる)	文部省「父母と先生の会」設置に関する資料配付
1948 (昭和23)	常盤，八幡小学校が社会学級を開設する	社会学級開設委嘱の開始
1949 (昭和24)	若松，常盤小学校が文部省指定校となる	社会教育施行令公布，小中学校で社会学級が始まる
1952 (昭和27)	社会学級の学級数が小学校19，中学校5の24学級となる	
1953 (昭和28)	市川房枝氏を講師に，社会学級の合同講演会を開催する	
	<社会学級の整備>	
1954 (昭和29)	教育委員会が社会教育方針に「社会学級の発展助長」を挙げ，社会教育資料「各社会学級講座運営計画書」を紹介する 若松小学校が文部省指定校となる	
1955 (昭和30)		第1回日本母親大会が開かれる テレビが普及する
1960 (昭和35)	青柳小学校社会学級が文部省指定校となる	
	<社会学級の充実>	
1961 (昭和36)	函館市社会学級生連絡協議会が発足する (社会学級数33) 研修旅行を学習に取り入れる 全市合同社会学級レクリエーション大会を開催する 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	高校全員入学問題全国協議会が結成される
1962 (昭和37)	第1回社会学級生グループ作品展を丸井今井デパートで開催する 全市合同研修会を板東 義憲氏，渡辺 茂氏を講師に労働会館で開催する	家庭教育の振興策として国庫補助事業が始まる
1964 (昭和39)	常盤小学校社会学級が市研究指定校となる 道徳教育充実のため，学校教育との連携を重視する	

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1965 (昭和40)	社会学級の当面する諸問題について意見交換する	全国子供連合会の設立 中教審が「期待される人間像」 草案を発表する
1966 (昭和41)	家庭および地域環境の健全化と青少年指導の徹底 に努める	
1967 (昭和42)	第1回社会学級生コーラス交歓会を開催する (社会学級数39/2, 352名) 社会学級の課題として「学級運営のあり方」を取 り上げる	
1969 (昭和44)	第1回社会学級生スポーツ交歓会を開催する	
	<社会学級の充実発展>	
1971 (昭和46)		社会教育審議会が「急激な社会 構造の変化に対応する社会教育 のあり方」について答申する 「主婦の生きがい論」の思潮が 起きる
1973 (昭和48)	「家庭教育の手引き」を発行する	オイルショックが起きる
1975 (昭和50)		国際婦人年
1976 (昭和51)	社会学級研究会を開催する(婦人の立場を見直し ながら40代からの生きがいを考える・親と子の あり方, しつけを考える・子どもの生活環境と学 習塾を考える・子どもの遊び, 自然との関わりを 考える・子どもの進路指導を考える)	国連国際児童年に関する決議が される
1978 (昭和53)	社会学級生と青少年問題委員との懇談会が開催さ れる	
1981 (昭和56)	研究主題「主体的な活動を求めて」を掲げ, 社会 学級の原点を見つめ直す	国際障害者年
1982 (昭和57)		女性による老人問題シンポジウ ムが開かれる
1986 (昭和61)	社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 人生 観, 社会学級観, 学習意識等について)	教育改革に関する第二次答申
1987 (昭和62)	社会学級生グループ作品展の会場を市役所に移し て開催する(社会学級数52/社会学級生数 4, 169名)	教育課程審議会が「学校教育に おいての生涯学習の基礎の 育成について」が答申される
1988 (昭和63)		昭和63年教育白書に「生涯学 習の新しい展開」が示される
1989 (平成元)	社会学級生グループ作品展の会場を丸井デパート に移して開催する	消費税導入(3%)

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
1990 (平成2)	社会学級セミナーで「社会学級のあり方」を取り上げる 社会学級生グループ作品展の会場をテオー小笠原に移して開催する(16学級が出品)	
1991 (平成3)		中教審が「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」答申する
1992 (平成4)	スポーツ交歓会にミニバレーが加わる	第1回生涯学習フェスティバルが千葉市で開催される 学校週5日制実施
1993 (平成5)	スポーツ交歓会にソフトバレーが加わる	第1回家庭教育フォーラムが開かれる
1994 (平成6)		児童の権利条約が日本国内で発効される
1997 (平成9)	社会学級主事会が発足する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「共に学び豊かな心を」を作成する 社会学級生の意識調査を実施する(社会観, 学級運営, 学習認識, クラブ活動, 人間関係について) 社会学級生グループ作品展を市民会館で開催する	消費税が5%になる 北海道拓殖銀行が倒産
1998 (平成10)	スポーツ交歓会(ソフトテニス)の会場をサン・リフレ函館に, 音楽発表会の会場を芸術ホールに移して開催する 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館の街なみと体験学習」を作成する	長野オリンピック開催
1999 (平成11)	初となる見学体験学習を実施する(青森市/90名) 初となるブロック交流活動を行う 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」を作成する	
2000 (平成12)	親子ふれあい体験学習を函館公園で実施する 「社会を明るくする運動」で法務大臣より感謝状を受ける 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだての伝説と昔話」を作成する	
2001 (平成13)	見学体験学習を実施(ニセコ/80名) 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「函館・歴史・時代」を作成する	
2002 (平成14)	見学体験学習を実施(江差/78名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「はこだて港物語」を作成する	サッカーワールドカップが日韓で同時開催

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2003 (平成15)	見学体験学習を実施(渡島東部/45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催	
2004 (平成16)	見学体験学習を実施(大沼公園/45名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催 社会学級主事会が社会学級活動推進資料「楽しく学べるモデルコース」の一部見直しを行う 社会学級の現状把握のためのアンケート調査を実施する	駒大苫小牧高校が北海道勢として史上初の甲子園優勝 新潟県中越沖地震発生 道内の自治体で初の市町村合併, 函館市・戸井町・南茅部町・恵山町・楸法華町の1市3町1村が合併, 函館市となる
2005 (平成17)	見学体験学習を実施(三内丸山遺跡/27名) 市民体育館工事のため, 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 青年センター, 小学校体育館, サン・リフレ函館で開催 西部地区で一般市民向けの社会学級体験講座を初めて実施する(高盛小/10名)	愛知万博開催 兵庫県尼崎市でJR福知山線脱線事故が発生 駒大苫小牧高校が甲子園連覇
2006 (平成18)	見学体験学習を実施(江差/45名) 社会学級60周年記念, 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プール, サン・リフレで開催 社会学級開設60周年記念祝賀会をホテルオークランドで開催(76名)	トリノオリンピックで荒川静香選手がフィギュアスケートで日本人初の金メダル獲得 教育基本法改正
2007 (平成19)	見学体験学習を実施(八雲/52名) 社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館で開催	中空土偶が北海道初の国宝に指定される
2008 (平成20)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プールで開催 見学体験学習を実施(知内/48名)	
2009 (平成21)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プールで開催 見学体験学習を実施(旧4町村/46名) 社会学級あゆみ展を中央図書館で開催する	函館開港150周年
2010 (平成22)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プールで開催 見学体験学習を実施(森/52名)	根岸英一教授と鈴木章名誉教授がノーベル化学賞を受賞
2011 (平成23)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プールで開催 見学体験学習を実施(縄文文化交流センター/73名)	東日本大震災発生
2012 (平成24)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール, 市民体育館, 市民プールで開催 見学体験学習を実施(市内西部地区/50名)	京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2013 (平成25)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（市電乗車体験・見学／39名）	2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定 富士山が世界文化遺産に決定
2014 (平成26)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，市民体育館，市民プールで開催 見学体験学習を実施（市内・七飯町／44名）	消費税が8%になる 五稜郭築造150周年
2015 (平成27)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，函館アリーナ，市民プールで開催 見学体験学習を実施（恵山・榎法華／26名）	函館アリーナ供用開始 大村智名誉教授がノーベル生理学・医学賞を，梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞
2016 (平成28)	社会学級生フェスティバルを芸術ホール，亀田福祉センター，函館アリーナ，市民プール，サン・リフレ函館，遺愛女子高校で開催 見学体験学習を実施（七飯／45名）	北海道新幹線開業 初のフルマラソンとハーフマラソンを併せ，函館マラソン開催 リオデジャネイロ・パラリンピックで辻沙絵選手と池崎大輔選手がそれぞれ銅メダルを獲得
2017 (平成29)	社会学級生フェスティバルを市民会館，サン・リフレ函館，函館アリーナ，芸術ホールで開催	
2018 (平成30)	社会学級生フェスティバルを函館アリーナ，芸術ホール，駒場小学校体育館で開催する	北海道命名150周年 北海道胆振東部地震発生
2019 (令和元)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／74名，ロープウェイ／44名） 社会学級生フェスティバルを函館競輪場テレスシアター，函館アリーナ，芸術ホール，旭岡小学校体育館，函館サン・リフレで開催する 新型コロナウイルス感染症予防のため，全ての社会学級活動を停止（2月25日～3月31日）	新元号「令和」施行 「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産の国内推薦候補に選定 消費税が10%になる 新型コロナウイルス感染症が発生
2020 (令和2)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会学級を1年間休止	亀田交流プラザ供用開始 全都道府県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令
2021 (令和3)	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令により，5月18日～6月20日および8月28日～9月30日の期間，社会学級活動を休止	「北海道・北東北の縄文遺跡群」がユネスコ世界文化遺産に登録 1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催 パラリンピックで池崎大輔選手が銅メダルを獲得
2022 (令和4)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／48名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	民法改正により成年年齢が20歳から18歳へ引き下げ 函館市市制施行100周年記念式典挙行

年 代	社会学級のあゆみ	時代の流れ
2023 (令和5)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／35名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に移行 全国高等学校総合体育大会が36年ぶりに北海道で開催（函館：ハンドボール，自転車競技）
2024 (令和6)	見学体験学習を実施（市立函館博物館／35名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	能登半島地震発生 日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞
2025 (令和7)	見学体験学習を実施（函館視力障害センター／18名） 社会学級生フェスティバルを市民会館，函館アリーナ，サン・リフレ函館，亀田交流プラザで開催	大阪・関西万博が開幕 憲政史上初の女性総理大臣誕生